



# 『防災の視点』からの まちづくり協議会の必要性について

～ 自分達が住んでいる地域を守るために! ～

白井市 危機管理監 内田 豪



## 講話の内容

- 1 「防災の基本的考え」を知ろう!
- 2 「南山小学校区の災害リスク」は?
- 3 「自主防災組織・まち協の重要性」
- 4 まち協の「防災の取り組み」

1 「防災の基本的考え」を知ろう!

## 災害大国日本の現状

- ◎台風による暴風・大雨
- ◎気温:猛暑日(35度以上)の連続
- ◎震度6・7の大地震が頻発





**暴風**



**竜巻**

**台風・低気圧による暴風・豪雨災害**



**洪水・氾濫**



**土砂崩れ**



**東日本大震災:震度7・大津波**



**大阪北部地震:震度6弱**



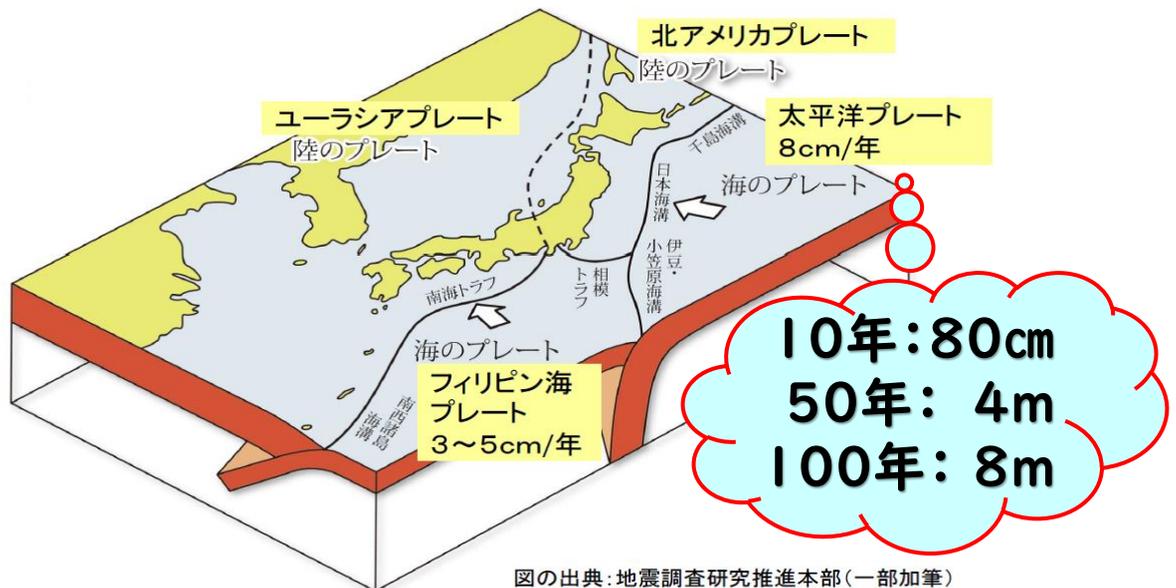
**熊本地震:震度7(2回)**



**北海道胆振東部地震:震度7**

**【ブラックアウト】**

## 日本列島周辺のプレート



## 千葉県を襲った大震災

発生年月日	地震の規模(M)	震源地 県内最大震度	被害の概要
慶長地震 1605年	7.9	房総沖 震度不明	山くずれ、死者多数 房総半島東に大津波
延宝地震 1677年	8.3	茨城県沖 震度6	房総沿岸大津波 水死者200余名
元禄地震 1703年	8.2	房総沖 震度7	房総沿岸大津波 津波被害大、死者多数
安政地震 1855年	7.2	埼玉東南部 震度6	下総地方で死者多数木更津で小規模津波
関東大震災 1923年	7.9	相模湾 震度7	死者・行方不明1,346名(内1,255人[93%]は家屋の全壊が原因)土砂災害

## 防災の基本的考え

自分達の住んでいる「国・県」・「まち（市・地域）」の「災害リスク」と「感染症対策」を知る。

災害ごとのリスク  
に対する備えをする。

思考範囲

平常時

発災直前

発災時

復旧・復興時

備えの実行、命を守る行動を訓練

自分・地域を守る！

## 震災に対する基本的考え方！

大地震が発生した際、自らの生命と家族の安全が確認され、自宅等が倒壊せず、火災で全半焼しない限り、避難所へ行く必要はない。

自宅で生活が可能な場合、「自宅で生活することが原則」

特に、コロナ・インフル感染症の現況で、大地震発生時に「避難しないための備え」と「感染予防の備え」が重要  
「どうしても避難が必要な時」は ➡ 【分散避難】

## 2 「南山小学校区の災害リスク」は？

### 「白井市の災害リスクは？」



# 「南山小学校区 の災害リスクは？」

河川  
氾濫・洪水？

土砂災害  
危険箇所？

地震  
建物被害？

液状化？

高層マンション  
被害

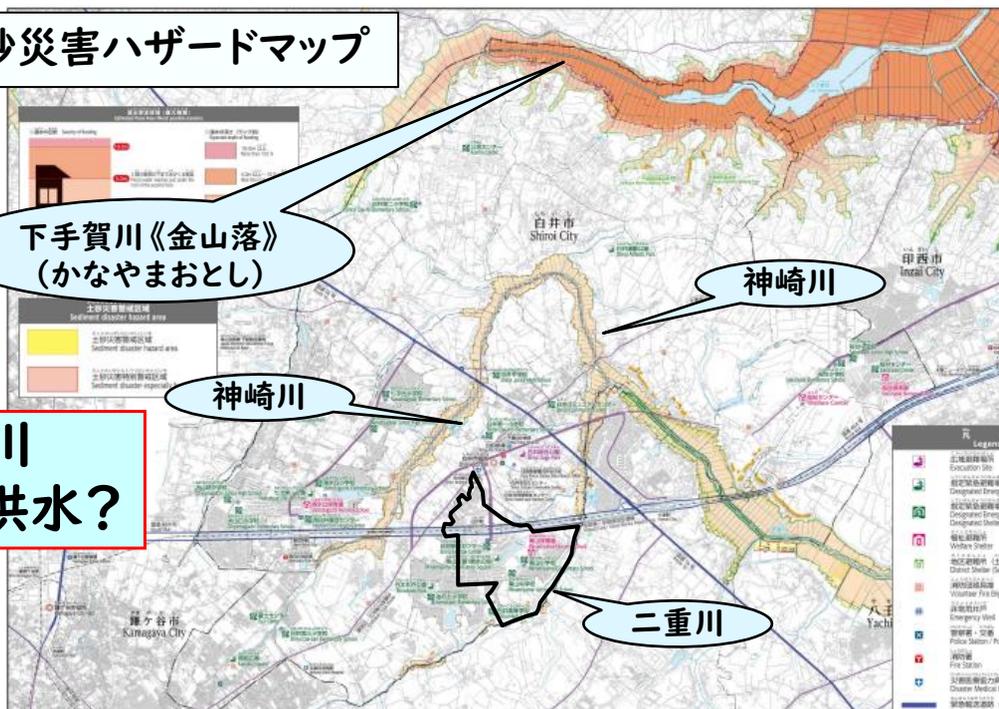


## 南山小学校区【河川の洪水】危険箇所はどこ？」



令和元年大雨：鹿島川（佐倉市）

# 洪水・土砂災害ハザードマップ



## 白井市 洪水浸水想定地域：避難対象者と一次開設避難所

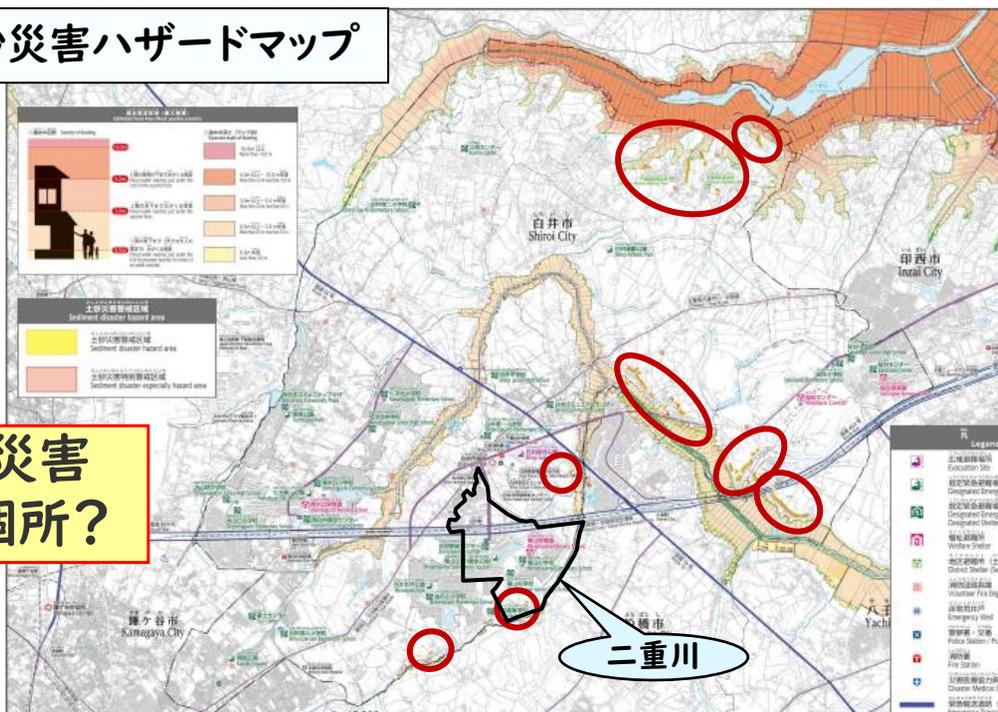
対象河川	地区	世帯数	人数	計	要支援者	指定緊急避難場所	一次開設避難所
利根川 ・ 手賀川 ・ 手賀沼	中	2	5	49世帯	2	公民センター 白井運動公園	公民センター
	名内	13	31				
	今井	26	62	117名	2		
	河原子	1	2				
	平塚	7	17	4			
計	49	117					
神崎川 ・ 二重川	神々廻	2	5	9世帯		桜台センター 桜台小学校 桜台中学校	桜台センター
	清戸	4	9				
	谷田	3	7	8世帯	1		
	白井	5	12				
	根(右岸)	3	7	55世帯	1	七次台小・中学校 清水口小学校	西白井コミュニティプラザ
	根(左岸)	54	130				
	木	1	2	132名			
計	72	172		2			

# 南山小学校区【土砂災害】危険個所はどこ？」

## 令和元年台風被害



## 洪水・土砂災害ハザードマップ

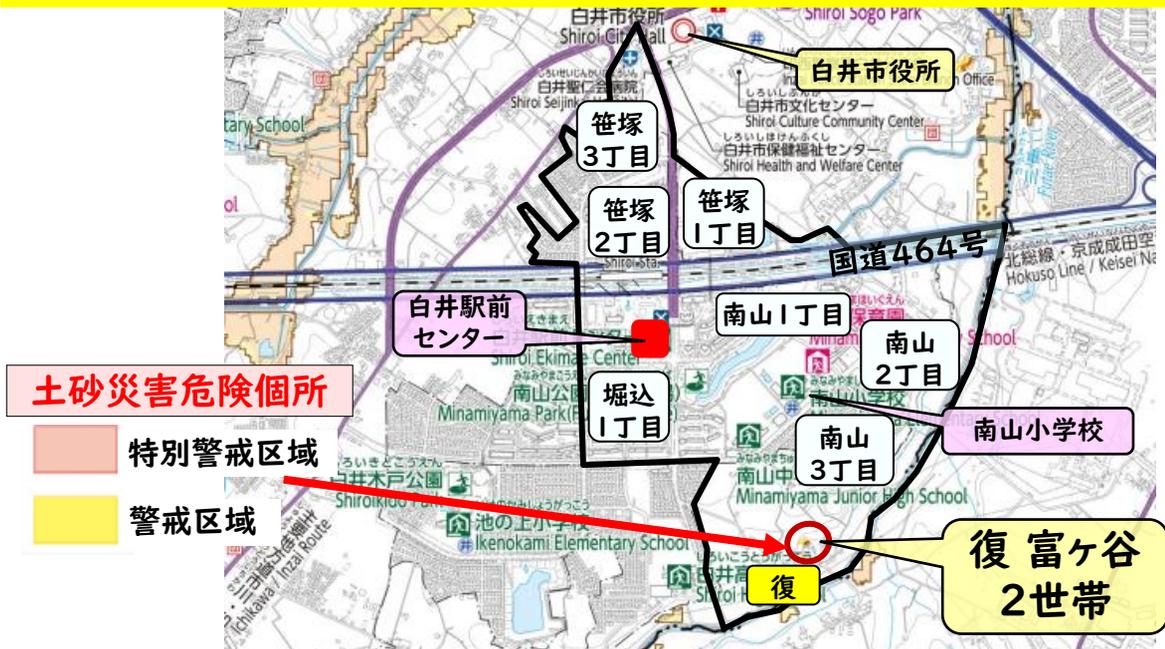


土砂災害  
危険個所？

## 白井市 土砂災害警戒区域：避難対象者と一次開設避難所

地区	警戒区域	世帯数	人数	計	避難行動要支援者	地域の指定緊急避難場所	地区避難所	一次開設指定避難所
神々廻	5	32	80	75世帯 ・ 183名	3	桜台センター 桜台小学校 桜台中学校		桜台センター
清戸	7	15	32					
谷田	2	28	71					
平塚	10	12	40	12世帯 ・40名	2	白井運動公園	西区集会所 東区集会所	公民センター
復	4	7	28	7世帯 ・28名		南山公園 白井総合公園		白井コミュニティセンター
計	28	97	251		5			

## 南山小学校区【土砂災害】危険箇所はどこ？」



## 南山小学校区【地震】危険箇所は？

地震  
震度6強

建物被害？

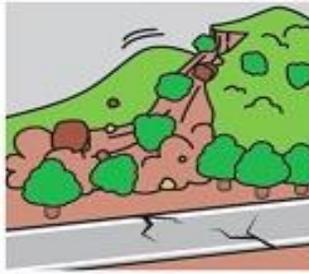
液状化？



## 震度と揺れの状況を知る

同じ地震でも地盤や同じ建物でも階により揺れの程度が違ってきます。

6強



耐震性が高い



耐震性が低い

〔震度6強〕

- はわないと動くことができない飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

## 震度と揺れの状況を知る

同じ地震でも地盤や同じ建物でも階により揺れの程度が違ってきます。

**7**



耐震性が高い

耐震性が低い

**【震度7】**

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

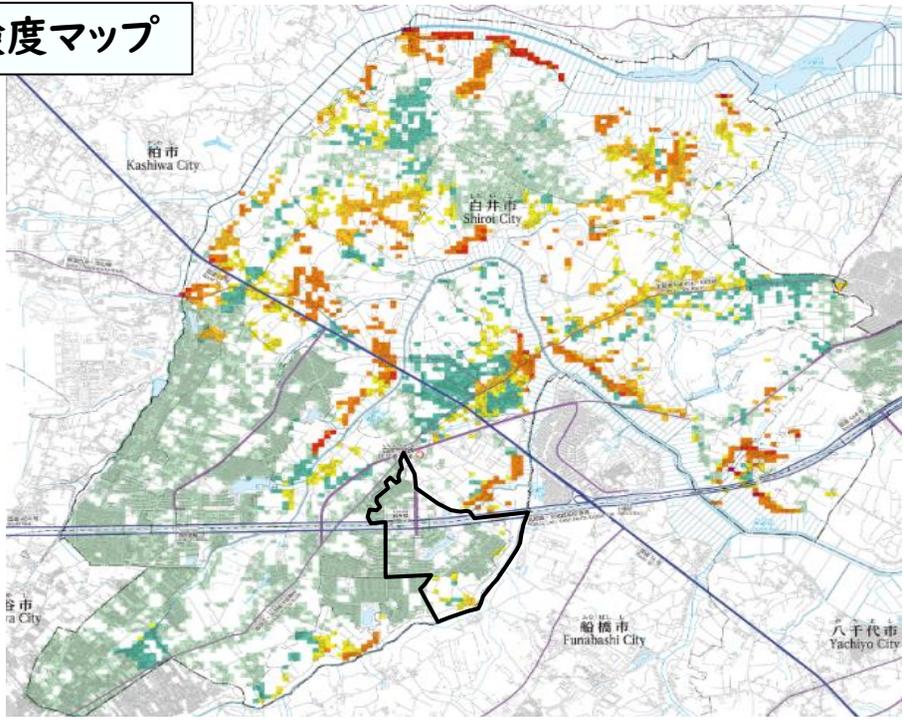
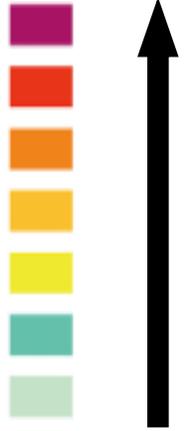
## 南山小学校区【建物倒壊】危険箇所はどこ？」



**地震  
建物被害？  
揺れ  
【震度6強】**

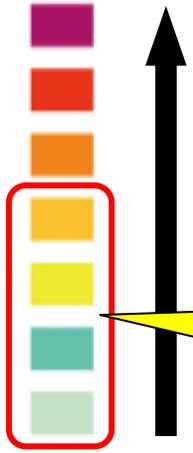
# 建物倒壊危険度マップ

建物倒壊危険度ランク

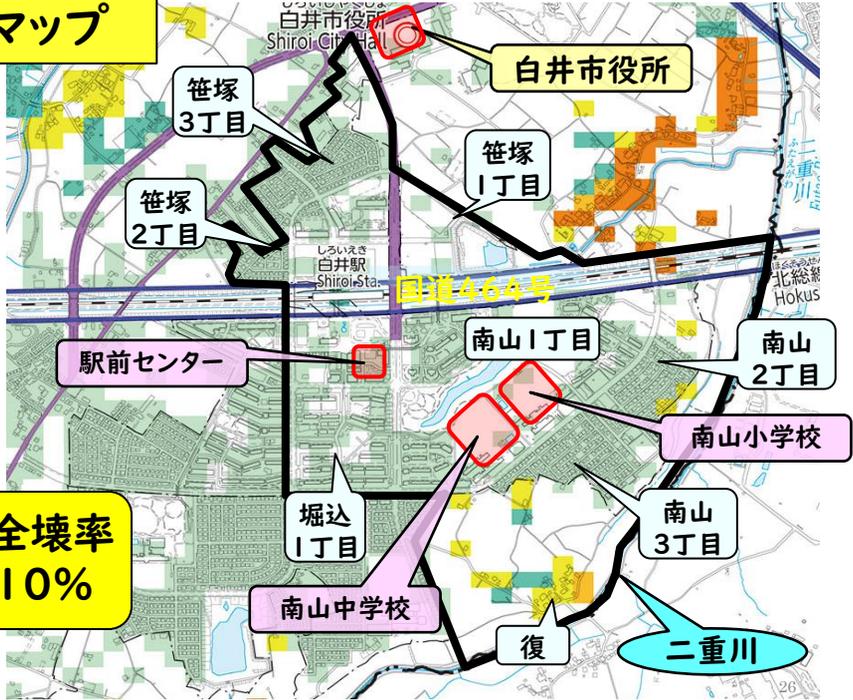


# 建物倒壊危険度マップ

建物倒壊危険度ランク



建物全壊率  
3~10%



「震度6強」の  
揺れ対策をしないと・・・



特に、高齢者・小さな子供  
がいる家庭では・・・



液状化被害 (浦安市・札幌市)



南山小学校区【液状化】危険箇所はどこ？」

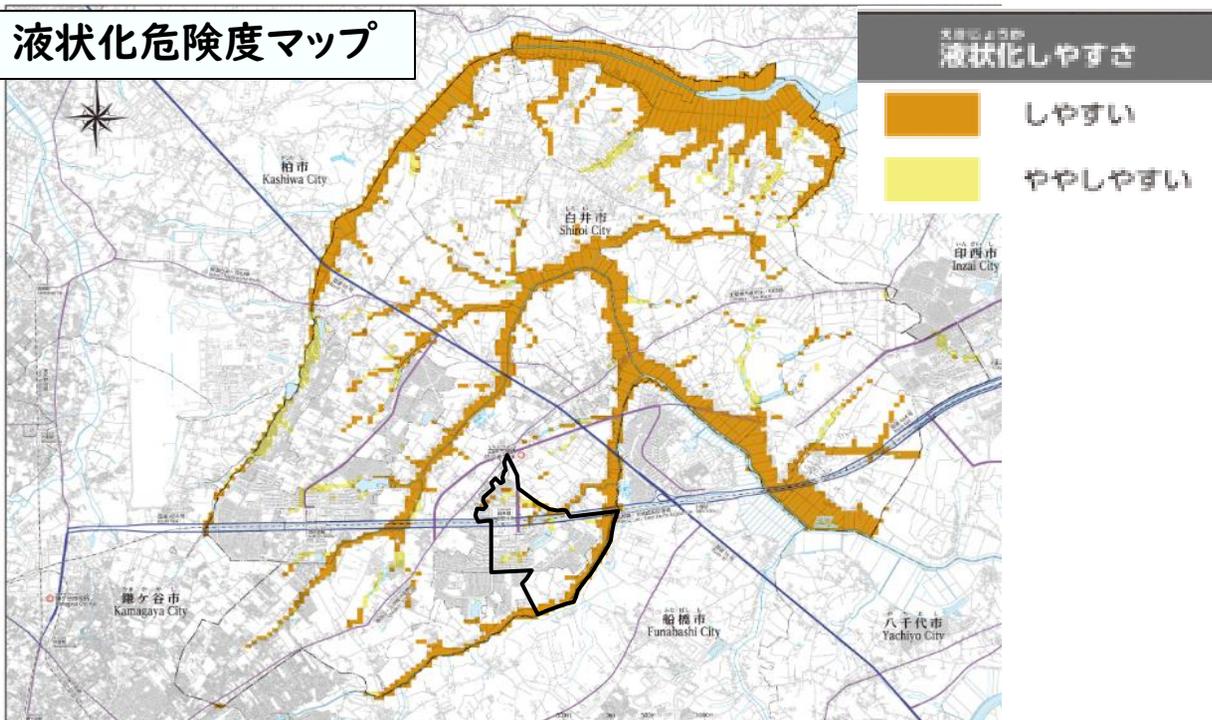


戸建住宅の傾斜



公営施設の傾斜被害

# 液状化危険度マップ

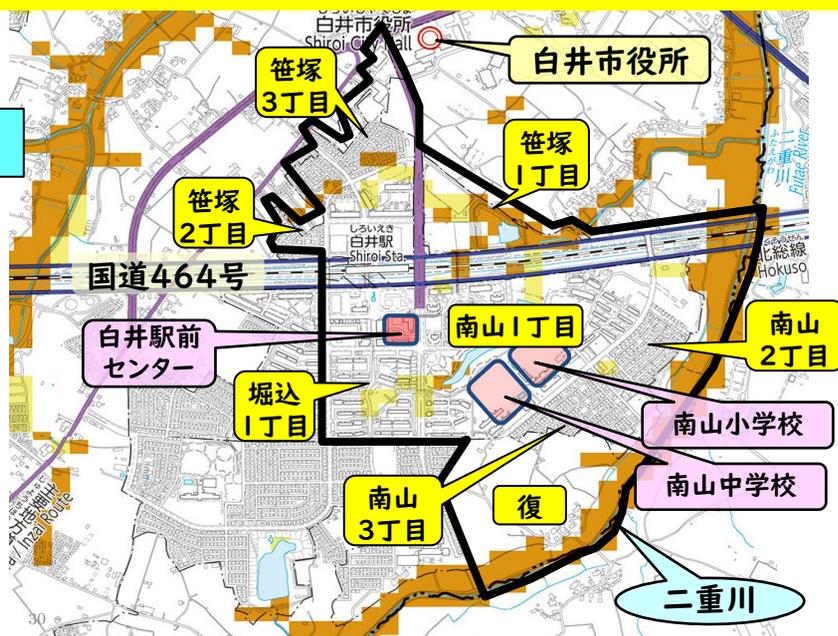


## 南山小学校区【液状化】危険箇所はどこ？」

### 液状化危険度マップ

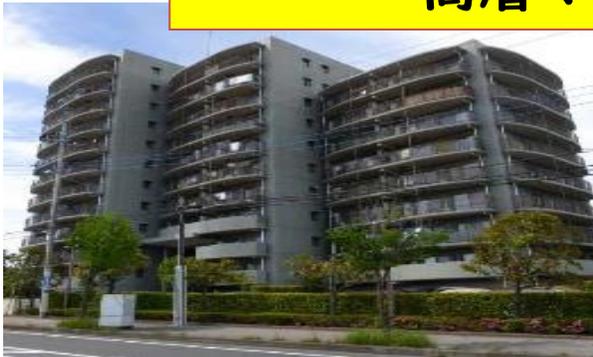
#### 液状化しやすさ

- しやすい
- ややしやすい



# 南山小学校区 高層マンションの 地震リスク

「高層マンション」



## 過去の被害「長周期地震動」

「阪神・淡路大震災」「東日本大震災」「熊本地震」  
「大阪北部地震」「北海道胆振東部地震」

- 1 建物倒壊などの大きな被害は少なかったが、**壁の剥離(はくり)**や**ひび割れ**、**受水層等の設備の破損**が発生した。
- 2 **ライフラインの停止**は、被災後の生活に大きな影響！
  - ・ **自宅での生活が困難**になり避難した人が多くいた。
  - ・ **高層階の住民**はエレベーターの停止で住居からの出入が困難になり**孤立「高層難民」**した。

## 「高層マンションの被害・・・」



高層マンションに長周期の揺れが伝わると!

ゆっくりとした大きな揺れが非常に長く続く!

**ピアノは動き回る!**

家具やテレビは倒れる、ピアノやキャスター付の家具は空間を動き回ったりするという。

収納物が飛び出したり、動き回る家具やガラスの破片でケガを負う危険が高い。寝ている間に家具の下敷きになる。

**地上からの孤立!**

高層階に住んでいる場合は、エレベーターが停止、移動が困難になり、孤立してしまう。

「高層マンション」  
「ライフライン復旧」の推移

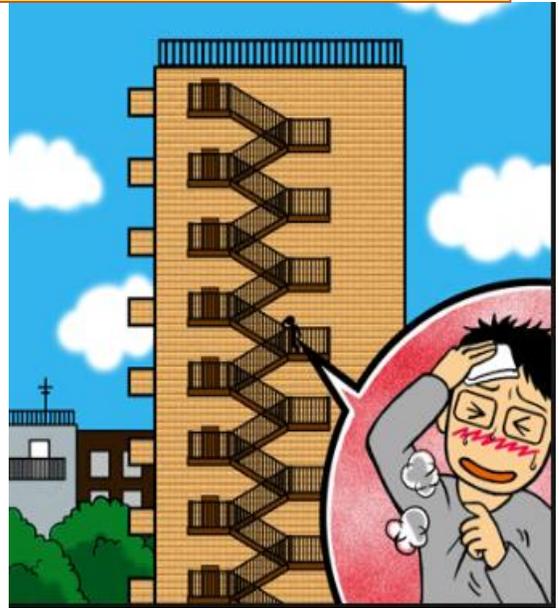
東日本大震災：仙台市の全マンション

電 気 : 3日以内が69%

水 道 : 1週間以内が72%

都市ガス : 1ヶ月を要した。

## 「高層階の住民は・・・」



## 南山小学校区

### 【震災時マンション火災】



近い将来懸念される  
《巨大地震》

「白井市への影響」

南山小学校区【地震】被害予測

・ 南海トラフの巨大地震 「内閣府」 津波

・ 房総半島東方沖地震 「千葉県」 津波

・ 首都直下地震 「内閣府」

白井市に  
最も影響

・ 千葉県北西部直下地震 「千葉県」

## 千葉県北西部直下地震【M7.3】



### 白井市の【地震被害想定】

千葉県地震被害想定調査  
平成28年3月：千葉県

【想定地震】 M7.3

【千葉県北西部直下地震】

(最大被害：冬5時・18時、風速8m/s)

白井市アセスメント調査【被害想定】

## 建物被害（白井市）

### 【全壊・焼失数】

約 **602** 棟 / 約 18,500 棟

揺れ：472 火災：130



### 【倒壊、半壊棟数】

約 **1,667** 棟 / 約 18,500 棟



## 南山小学校区：建物被害

### 【全壊・焼失棟数】

約 **10** 棟 / 約 733 棟

揺れ・火災  
液状化等



### 【半壊・半焼棟数】

約 **47** 棟 / 約 733 棟

揺れ・火災  
液状化等



南山小学校区（木造：425・非木造：308）

## 人的被害発生の要因

・建物倒壊

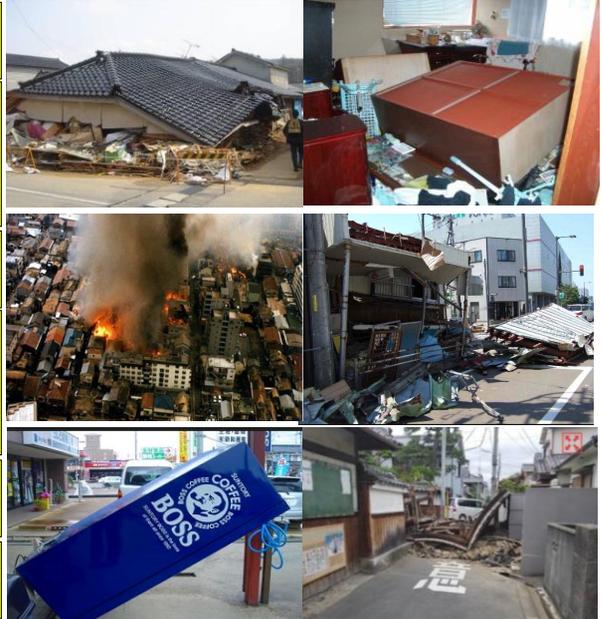
・屋内収容物の移動  
転倒・落下物

・火 災

・ブロック塀・自動販  
売機等の転倒

・屋外落下物

・急傾斜地崩壊



## 人的被害(白井市)

【重傷者】 約 39 人 / 約 63,000人

建物倒壊等：21

屋内収容物移動・転倒、屋内落下物：18

【軽傷者】 約 315 人 / 約 63,000人

建物倒壊等：225

ブロック塀・自販機・屋外落下物：20

屋内収容物移動・転倒、屋内落下物：70

【自力脱出困難者】 約 30 人

【死 者】 約 32 人 / 約 63,000人

## 南山小学校区：人的被害

【重傷者】 約 1人 / 約7,500人

建物倒壊、屋内収容物移動・転倒、屋内落下物

【軽傷者】 約 8人 / 7,500人

建物倒壊、ブロック塀・自販機・屋外落下物  
屋内収容物移動・転倒、屋内落下物

【死者】 約 1人

【自力脱出困難者】 約 6人

### ライフライン被害（県全体）

電力	夏場ピーク電力需要に対する割合	
	発災直後	51%
	発災1週間後	52%
	発災1か月後	94%

上水道	機能障害率	
	発災直後	42%
	発災1週間後	24%
	発災1か月後	4%

下水道	機能障害率	
	発災直後	42%
	発災1週間後	24%
	発災1か月後	4%

通信（電話）	固定電話：不通回線率	
	発災直後	48%
	発災1日後	48%
	発災1か月後	9%
	携帯電話：停波基地局率	
	発災直後	4%
発災1日後	46%	
発災1か月後	9%	

ガス	都市ガス	
	復旧日数	約18日
	※東日本大震災：約1ヶ月	
	LPガス	
	機能障害	10%
※復旧推移検討困難		

## 帰宅困難者



【南山小学校区】  
市外への通勤・通学等多いのでは？

## 帰宅困難者(白井市)

平日12時に発災時

【ゾーン外外出者】約13,800人

通勤：11,500 通学：620

私事等：1,700

白井市に  
帰れない人

【帰宅困難者】約4,300人

通勤：3,800 通学：110

私事等：440

白井市から  
帰れない人

## 避難者数(白井市)

1日後

約 2,011 人

避難所：約 1,206

避難所外：約 804

1週間後

約 10,177 人

避難所：約 5,089

避難所外：約 5,089

2週間後

約 14,235 人

避難所：約 5,694

避難所外：約 8,541

白井市人口  
約63,000人

## 南山小学校区：避難者数

1日後

約111人 / 約7,500人

自宅建物被害

1週間後

約570人 / 約7,500人

ライフライン停止

2週間後

約646人 / 約7,500人

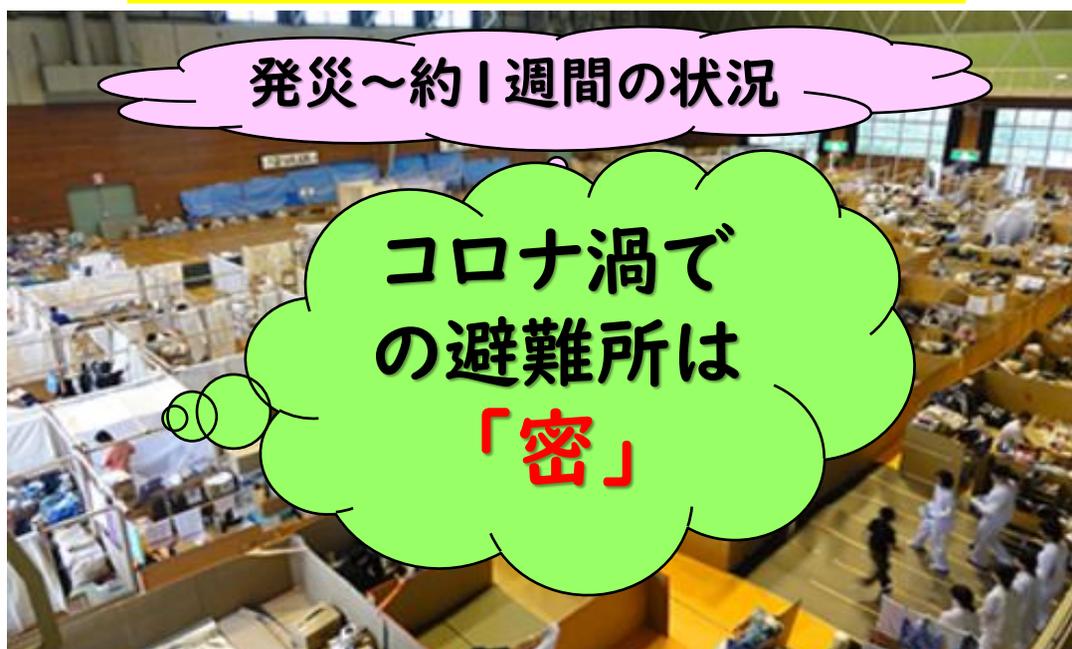
ライフライン停止

南山小学校区  
約7,500人：約2,800世帯

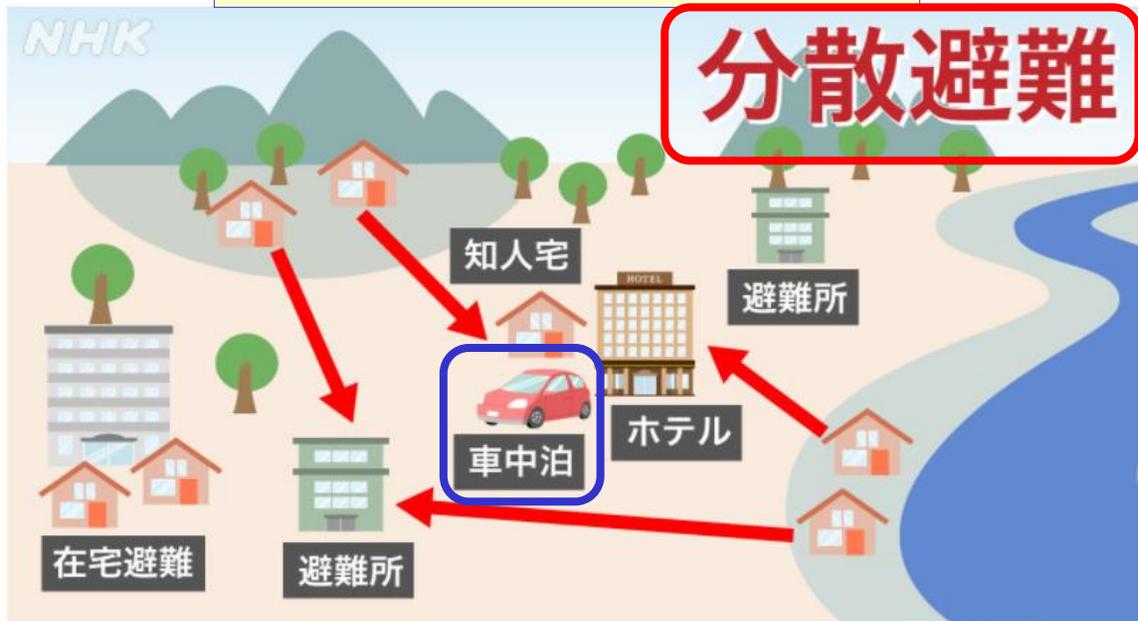
令和3年西日本豪雨:体育館



令和3年西日本豪雨:市総合体育館



## コロナ渦での避難先



## 車中泊・テント避難の備え

電気自動車を推奨



エコノミー症候群を防止

## 車中泊・テント避難の備え



地震：震度6強

小学校区毎  
の被害想定



市全棟：約18,500棟 **白井市・各小学校区地震被害想定** 市人口：約63,000人

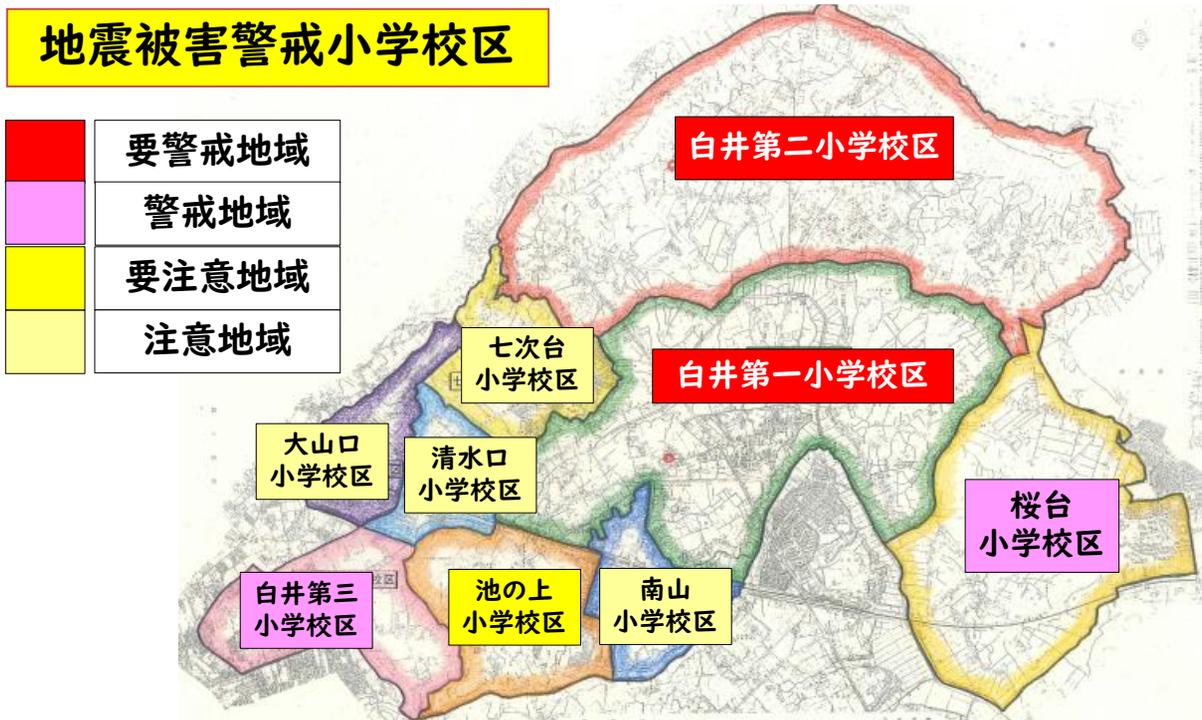
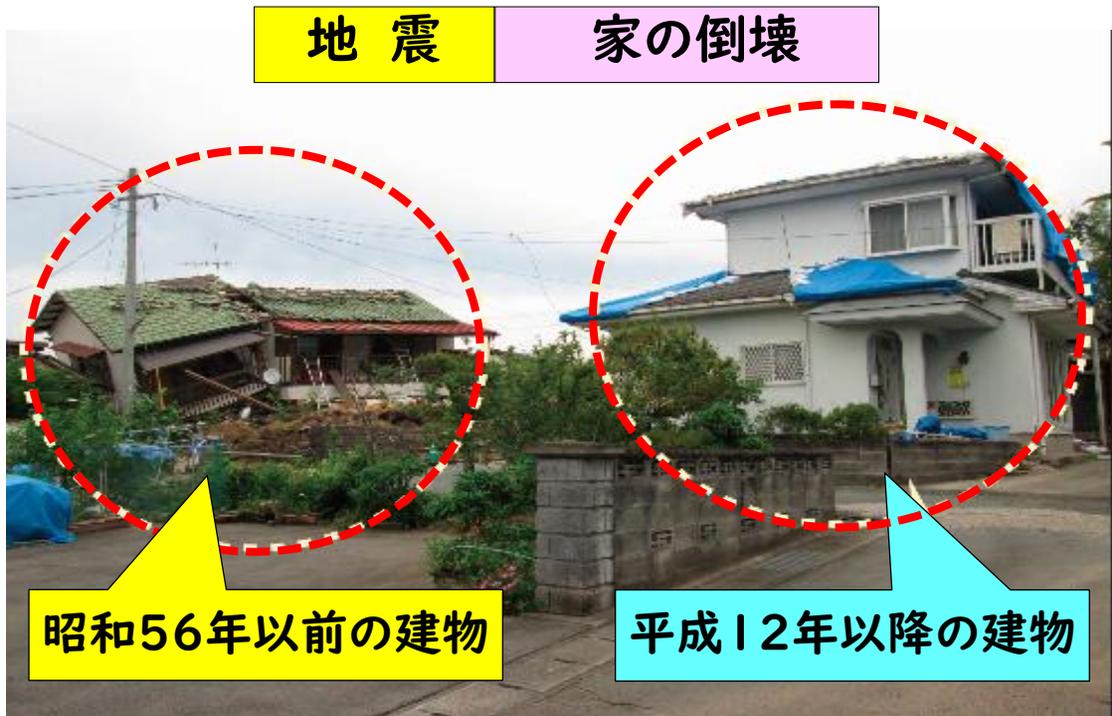
	建物被害			人的被害				避難者			
	全壊	半壊	焼失	死者	重傷	軽傷	自力脱出困難	避難所内		避難所外	
								1日後	1・2週間	1日後	1・2週間
<b>市全体</b>	<b>472</b>	<b>1,667</b>	<b>130</b>	<b>32</b>	<b>39</b>	<b>315</b>	<b>30</b>	<b>1,206</b>	<b>5,694</b>	<b>804</b>	<b>8,541</b>
白井第一小	143	405		10	12	81	3	234	618		
白井第二小	172	511		12	14	101	4	140	339		
白井第三小	35	227		2	3	39	3	148	914		
大山口小	14	83		1	1	14	1	145	756		
清水口小	18	80		1	1	14	7	130	623		
<b>南山小</b>	<b>10</b>	<b>47</b>		<b>1</b>	<b>1</b>	<b>8</b>	<b>6</b>	<b>111</b>	<b>646</b>		
七次台小	14	77		1	1	14	1	124	608		
池の上小	22	102		1	2	18	2	81	582		
桜台小	45	134		3	4	26	2	93	608		

- ★全壊の住民は早い時期に避難所等へ、半壊の住民は余震による倒壊が心配で逐次に避難所等へ避難する。
- ★避難所外へ避難する住民の中には、車両避難（車中泊・テント）をする方も多くなる。
- ★住民は、発災1週間になると備蓄した食料品等が不足してくるので避難所へ避難や食料等を求めてくる。

### 白井市【建物の建築年代と比率】

	総数	木造建物(棟)				非木造(S造・RS造)			木造 S56以前 の比率	木造 S57 以降 の比率	木造 H12 以降 の比率
		小計	S56 以前	S57以 降 ~H12	H12 以降	小計	S56 以前	S57 以降			
<b>市全体</b>	<b>18,336</b>	<b>13,589</b>	<b>2,996</b>	<b>4,683</b>	<b>5,910</b>	<b>1,135</b>	<b>436</b>	<b>699</b>	<b>22.1%</b>	<b>34.5%</b>	<b>43.4%</b>
白井第一小	2,638	2,210	740	786	683	65	133	322	33.5%	35.4%	31.0%
白井第二小	3,174	1,935	959	710	266	1,239	376	863	49.6%	36.7%	13.7%
白井第三小	3,033	2,642	591	767	1,284	391	88	303	22.4%	29.0%	48.6%
大山口小	2,095	1,529	126	427	975	566	169	403	8.2%	28.0%	63.8%
清水口小	1,016	613	120	221	272	402	175	227	19.6%	36.0%	44.4%
<b>南山小</b>	<b>733</b>	<b>425</b>	<b>67</b>	<b>154</b>	<b>204</b>	<b>308</b>	<b>90</b>	<b>218</b>	<b>15.8%</b>	<b>36.2%</b>	<b>48.0%</b>
七次台小	2,331	1,881	54	510	1,318	450	10	440	2.9%	27.1%	70.0%
池の上小	1,889	1,435	109	759	567	454	36	418	7.6%	52.9%	39.5%
桜台小	1,427	918	231	348	339	509	28	482	25.3%	37.9%	36.8%

**南山小学校区(木造:425・非木造:308)**



# 「住民の防災意識」

63

人間は、危機に対して楽観的である！

危機意識が欠如

正常化の偏見

自分にとって都合の悪い情報を無視したり  
過小評価したりする人の特性

(群馬大 片田教授)

## 白井市住民の防災意識は？(私見)

### ★自身への危機意識が欠如

- ・ 自分は大丈夫、自分たちの地域は大丈夫
- ・ 白井市は、災害に強い(地盤が強い)
- ・ 災害時は、市(国・県)が何とかしてくれる
- ・ これまで大災害は発生していない等々

### ★災害リスクと防災(備え)を正しく理解できていない

### ★避難所運営は市がするもの(避難者はお客様?)

### ★自主防災組織の結成数は少ない・活動力は低い

防災意識は**低い**

自分・地域は**守れない**

皆さんの  
危機意識は  
大丈夫ですか？



皆さんは？

今、自宅のリビングで子ども(孫)と  
テレビを見ている。

突然、「震度7の揺れ」が・・・!

1分後 何をしていますか? ⇒

5分後 何をしていますか? ⇒

10分後 何をしていますか? ⇒

**重要なこと!**

・・・初着のリスク情報の無視しない

⇒正常化の偏見※を打ち破る

⇒同調性バイアスで

正しい方向へ、皆を巻き込む

**【自助・共助】の備えを率先的に実践させる**

自主防災会は  
これができるように活動する!

## 防災の考え方は!



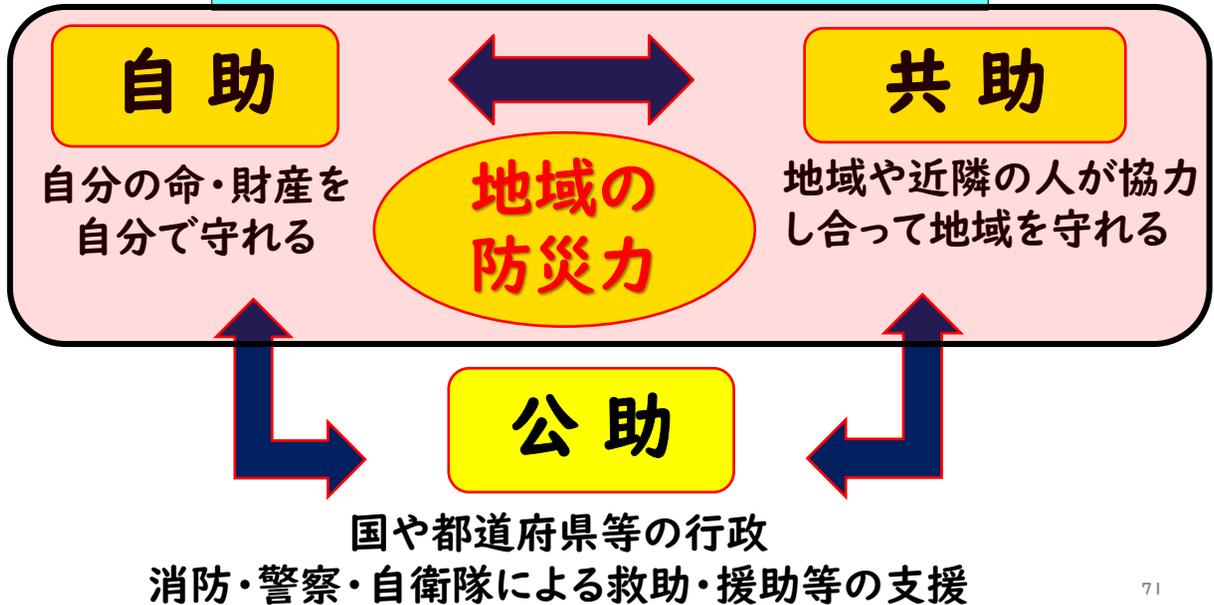
自分が  
他の人のために  
何ができるか!

普段何ができるか  
災害発生時に  
何ができるか!



### 3 「自主防災組織・まち協の重要性」

## 災害対策の基本 3要素



71

## 阪神・淡路大震災での教訓

### 生き埋めや閉じ込められた際の救助

(社)日本火災学会:「1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」による

自力で	家族に	友人・隣人に	通行人に	救助隊に	その他
34.9%	31.9%	28.1%	2.6%	1.7%	0.9%

**自助・共助  
97.5%**

**公助  
2.5%**

**自助・共助の重要性**

発災当初は!

「自助」「共助」  
が 命を救う!



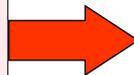
地域防災力が重要  
「自主防災組織」



発災直後の救助は一刻を争う。

発災直後の救助は、  
周りにいる人にしかできない!

救助される側



救助する側

まずあなたが無事であることが大切

「共助」が成り立たない!

「公助」 「行政：公的機関による支援」

市町村や消防・警察による、救助活動や支援物資の提供

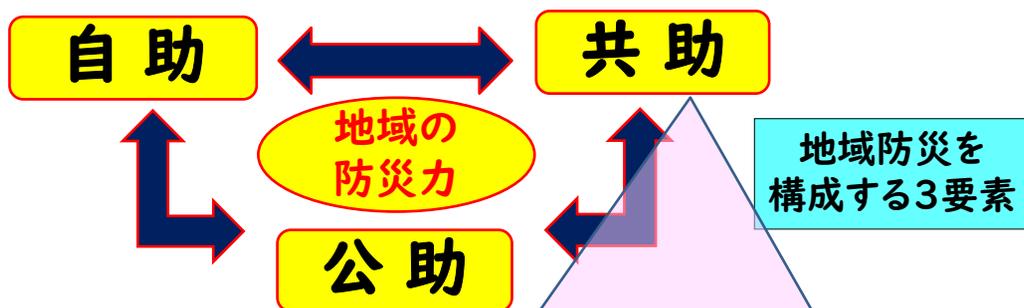
☆組織力発揮まで時間を要する。

☆発災当初(72時間)は  
人命救助最優先!

行政による対応のみでは、  
被災者の救助等に限界



## 【自主防災組織】の位置付け



## 【地域の防災における基盤組織】

『共助』の中核組織

『自助』を行う住民個人を直接・間接的に支える組織

# 自分たちの地域は、自分たちで守る活動

**防災意識を共有すること!**

- ・教育PTA活動
- ・福祉活動
- ・環境保護活動
- ・防犯活動(SST)
- ・地域のお祭り行事

安全で住みよい地域  
社会づくりへ貢献する。

**まちづくり協議会(自主防災組織)**

**実効性ある組織的な地域防災力**

**まちづくり協議会**

**中学生は  
頼りになる!**

あらゆる主体との パートナーシップ による生活課題の解決



## 発達段階における防災教育の目標 「文部科学省」

学校防災のための参考  
**「生きる力」を育む防災教育**  
(文部科学省:25年3月) 出典

発達段階における  
**(15年:3~18歳)**  
**「具体的な防災教育目標」**

79

### 中学校の「防災教育目標」

#### 【1年】

防災に関する**日常の備えを見直し**、災害に対して**適切な行動**ができる

#### 【2年】

応急手当の**技能を身に付け**、自己の安全ばかりでなく**他人の人々の安全にも配慮**できるようになる

#### 【3年】

災害等の非常時に**地域社会の一員として**、主体的に**地域の活動に参加**できる

## 高校の「防災教育目標」

### 【1年】

防災の係わりを知り、災害時の**要支援者への配慮**ができる

### 【2年】

災害時の危険を理解、**応急手当、心肺蘇生法の技能**を身につけ様々な場面で活用できる

### 【3年】

災害時の**支援者として役割を自覚**し、**防災活動・災害ボランティア**等支援活動に**極的に参加**できる

**中学生は!**

**防災に対する知識・思考・危機予測・判断は、修得（習得）している。**

**社会貢献・支援者としての  
基盤を確立する段階**

## 中学生を参加させる工夫

- ・ 中学校（校長）との連携、部活動仲間での参加
- ・ 保護者との連携、兄弟姉妹での参加

（一例を紹介）

『ガーデンタウン区防災フェスタ』参加者の**GPリーダー**

☆ 良い経験ができ、自信がついた。

☆ また参加したい。

## 中学生の能力は高く・良く動く

外部専門組織の活用  
【日本防災士会】千葉県支部

最前列がGP長の中学生



## 「自主防災組織」とは

地域住民が「**自分たちの地域は自分たちで守る**」という**自覚、連帯感**に基づき、**自主的に結成する組織**であり**災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う組織**

⇒ 「住民の隣保協同の精神に基づく自発的な防災組織」  
(災対法第5条第2項)



## 自主防災組織の規模

・ 自主防災組織は、**地理的条件、生活環境などから見て地域として一体性を有する大きさが最も効果的に活動できる規模**とされています。

(全国平均:約300世帯/1組織)

・ 自主防災組織の多くは、**町内会**や**自治会**ごとに結成され、**組織を連合し小学校区規模**で「**避難所運営委員会**」として**活動が望ましい**(内閣府防災・消防庁) ➡ 「**地区防災計画**」作成

## 自主防災組織の目的・役割

- 地域としての防災力を最大限発揮するには、**組織だった活動**が必要となります。
- 地域住民による、**防災活動を組織的かつ実効性のあるものとするために結成**されるのが、自主防災組織です。
- 自主防災組織は、
  - 『**平常時**』 **組織体制確立、予防的活動**
  - 『**災害時**』 平常時準備したことを**組織的に発揮**

## 自主防災組織の構成

基本的な班編成(例)

編成班名	日常の役割	災害時の役割
総務班 【本部班】	全体調整、他機関との連絡調整、避難行動要支援者の把握	本部設置、全体調整、他機関との連絡調整、被害・避難状況の全体把握(要支援者の避難状況)
情報班	情報の収集・伝達・広報活動	状況把握・報告活動
消火班	器具点検・防火広報	初期消火活動
救出・救護班	資機材調達・整備	負傷者等の救出、救護活動
避難誘導班	避難路(所)・標識点検	住民の避難誘導活動
給食・給水班	器具の点検	水・食糧等の配分 炊き出し等給食・給水活動

## 活動目標設定と年間活動計画の作成

具体的な目標を立てることで、**活動の成果が見えやすく、継続していく上での指標**となります。

### 【活動目標(例)】

- 「自助」の備え!を共有・実行する
- 地域の危険箇所を調査して、「防災マップ」を作成する
- 避難所運営委員会を立上げる
- 防災訓練を実施する



「自主防災組織の手引(消防庁・市町村)」を参考に!

## リーダーの役割(平常時)

- 自主防災組織の**組織維持、運営マネジメント**
- 自主防災組織の**活動の主導**
  - ☆ 緊急時の活動方針の策定、活動体制の構築の主導
  - ☆ 平時の防災訓練・活動の主導
- 地域住民の**防災への関心の維持・確保**
- 自主防災組織の**活動の評価、是正**

## リーダーの役割（災害時）

- 災害現場における、**的確な状況判断**
- 組織構成員への、**適切な情報提供・共有**
- 組織構成員への、**的確な行動指示及び実行の確認**

91

## リーダーを務めるにあたって

- リーダーは、どのような時期、状況下においても、常に自主防災組織の構成員との間に**適切なコミュニケーション**が図れるものでなければなりません。
- リーダーは、**地域と共にあり、共に成長する存在**です。
- 地域を大切に思い、地域活動を楽しみ・盛り立てていこう**という姿勢が大切です。
- 地域防災力の向上には、時間のかかる息の長い活動が求められます。リーダーは、拙速な成果を追うことなく、自主防災組織の防災力向上に資する**着実な成果を目指して、辛抱強い活動**をすることが必要です。
- 小さな成功事例の積み重ねが、次の活動への意欲につながる。**072

## 4 「まち協の防災の取り組み」

### 「自主防災組織活動の 基本的な流れ」

## 災害時の自主防災組織の流れ

- ☆運営本部の開設・運営《被害状況の全体把握と応急対応》
- 情報の収集・伝達
- 負傷者の救出・救護
- 出火防止・初期消火
- 避難行動要支援者の支援
- 安否確認
- 緊急避難場所への避難誘導
- 被災者の把握・避難支援
- 生活支援（給食・給水・物資・入浴・住居等）

発災初動時  
の活動が重要

95

## 平常時の活動

- 各世帯での**家族防災会議**を開いて住宅の耐震・耐火や家具の転倒防止対策などの促進
- **防災（災害リスク）知識の普及・啓発**
- **避難場所（避難所）と経路（昼よる）等の確認**
- **避難行動要支援者の個別支援計画作成等**
- **地域の災害危険箇所把握（防災マップの作成）**
- **広報誌・啓発資料等の発行**
- **防災資機材の備蓄・点検**
- **防災訓練等**



# 平常時における 「自主防災組織活動の 基本的な流れ」

97

## 自主防災組織の活動 ①



まずは、  
自主防災組織役員が  
「防災の基本的考え」  
「地域の災害リスク」  
を正しく知ること!

## 自主防災組織の活動 ②



防災啓発等により  
「地域住民の防災意  
識の改革と向上」  
させること!

## 自主防災組織の活動 ③



「自分たちが住んでい  
る地域の災害リスク」  
を正しく理解  
させる!

自分達が住んでいる  
地域に河川は？

「氾濫想定区域内」？



自分達が住んでいる地  
域に土砂災害の  
危険個所は？

「土砂災害警戒域内」？



自分達が住んでいる地域の

**「地震被害想定」**は

**『小学校区毎』**に知る!



#### 自主防災組織の活動 ④



**「家族防災会議」**

の場の設定

**「地域の災害リスク」**

を知る手段・手法等

## 防災：備えは**家族防災会議**から！

わが家の  
防災マップ  
を作ろう！



家族全員で話し合い  
地域の危険個所を確認  
集合場所、連絡方法、  
役割分担、**タイムライン**

- ・ いつも **家ではない**
- ・ いつも **家族は、一緒ではない**

家に居る時間・家族一緒の時間は  
**とても少ない！**

105

## 防災：備えは**家族防災会議**から！

大切なのは！  
「自助」の実践と  
コミュニケーション



### **【まずは「自助」をしっかりと実践！】**

- ・ 近隣（地域）との協力体制  
**「日頃から顔の見える、お付き合い」**
- ・ 市や自治会の防災訓練へ参加

106

# 「南山小学校区 の災害リスクは？」

河川  
氾濫・洪水？

土砂災害  
危険箇所？

地震  
建物被害？

液状化？

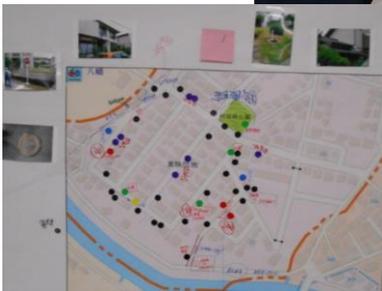
高層マンション  
被害



## まち歩き防災マップの作成



市に要望することも



【施設】・【地形】・【環境】など「危険な場所・物」、  
「頼れる施設・場所」などを予測して地図に落とす。

自主防災組織の活動 ⑥



《地震の備え!》  
《揺れからの行動》  
【自助】の  
普及・確認・継続

「備える」?

3日分・できれば1週間分

備蓄?

水?食料?

# 揺れる!

揺れから  
生き残れる  
備え!

111

水・食料の備蓄・非常用持出袋の準備

大事なことであるが

**最優先事項とはいえません!**

大地震（震度6強の揺れ!）が起きた時に  
『生き残れるための  
備えが最優先』

112

# 震度6の「地震」がおきると!

揺れる



倒れる



壊れる



負傷・恐怖心

閉じ込められる!

これに、備える!

113

災害の備えの最優先は!



まずは自分・家族の  
生命・財産を  
守る備え!

被災者(避難者)  
にならないための  
備え!



# 自分・家族の命を守る 「自助」の備え

## 必須3項目



自宅・室内を安全な場所にする!

115

### 1【家の耐震】 2【家具の配置・転倒防止等】

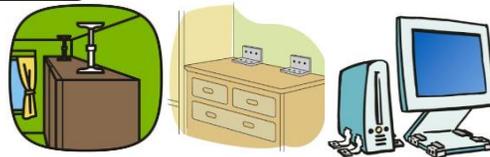
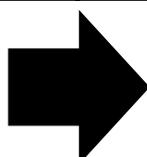
耐震診断

大地震の揺れ  
から耐えられる

配置・転倒防止

一般診断

精密診断



建替え・補強

耐震補強



白井市の補助【戸建住宅】

耐震診断に要する  
経費の3分の2  
(1件につき上限70,000円)

耐震改修工事に要する  
経費の3分の1  
(1件につき上限500,000円)

地震・津波保険加入



### 3 通電火災の防災

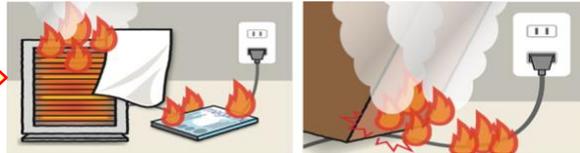


#### 【感震ブレーカー】

震度5強以上の地震を感知して電気をストップ。

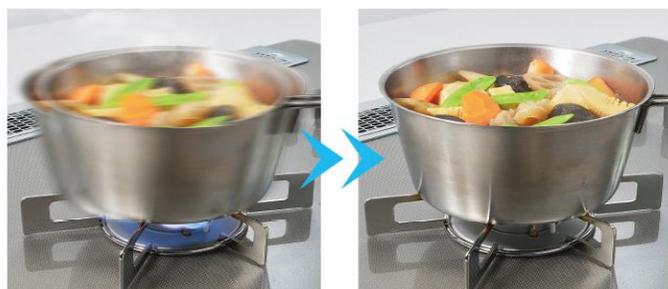


通電火災  
(復電火災)



ガス対応は、『揺れが治まったら』

安全性の高いコンロ



2008年4月以降製造のガスコンロは  
全てのバーナーは「安心センサー」付

ガスの器具にはマイコンメーターが!

# 家族の命を守るための 家具の配置と転倒防止等の対策

## コミュニケーションと 組織的な地域の防災対策

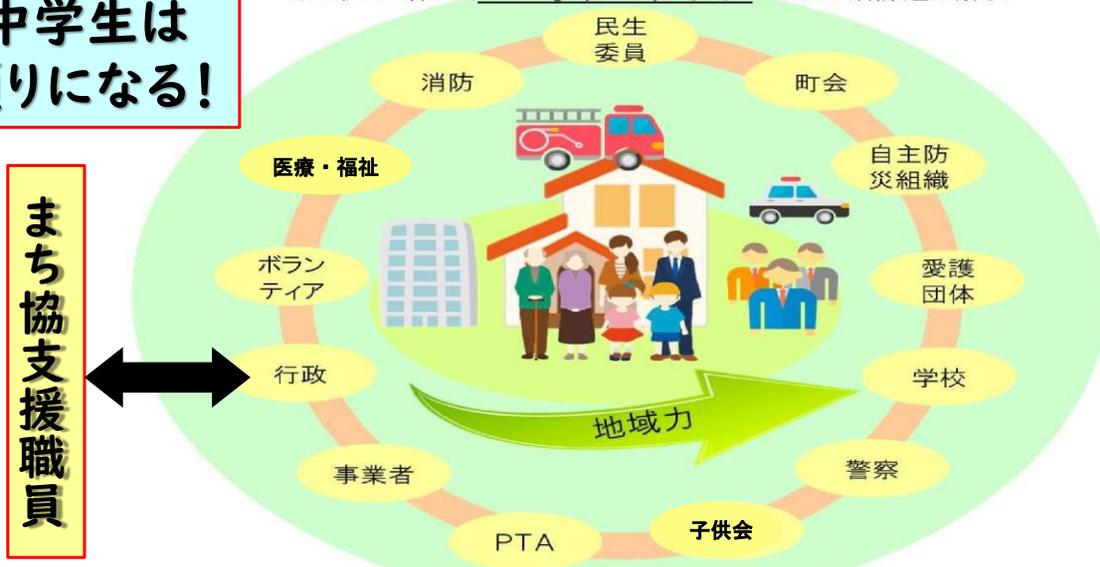


実効性ある組織的な地域防災力

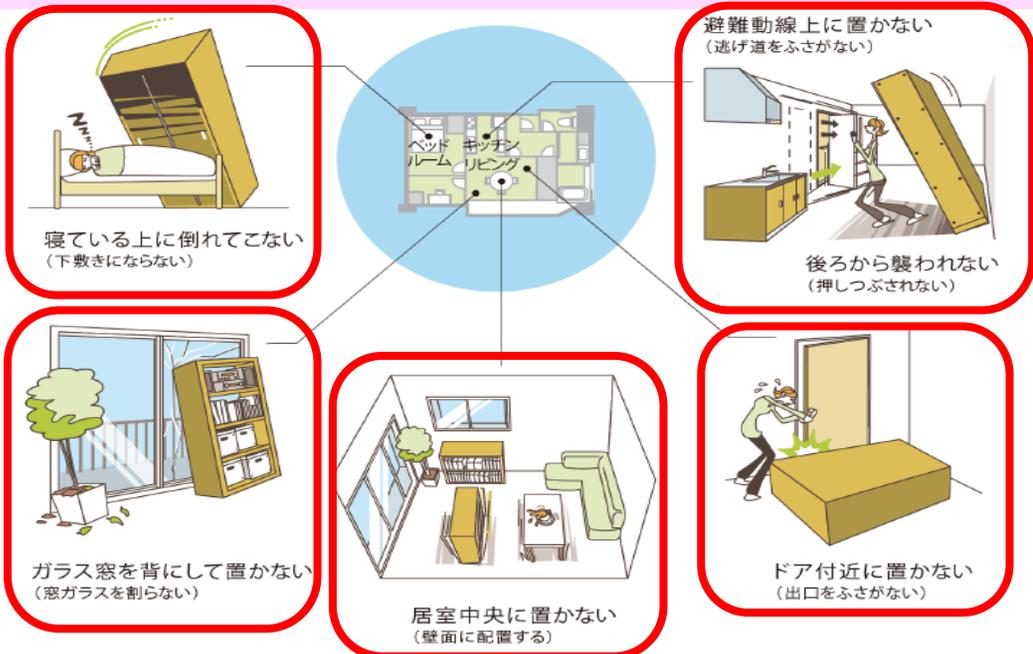
まちづくり協議会

中学生は  
頼りになる!

あらゆる主体との パートナーシップ による生活課題の解決



## 家族の命を守るために、まずは「家具等の配置」

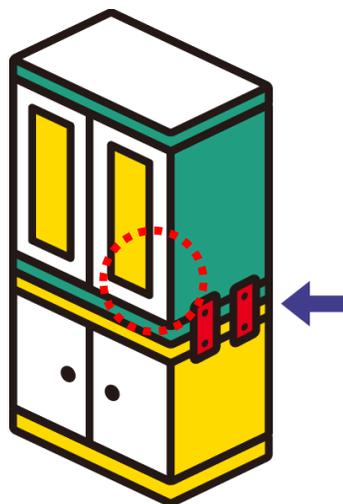


## 家族の命を守るために、「家具等の転倒防止」

激しい揺れの中で家具は凶器となり  
子ども・私たちに襲いかかります。



家族の命を守るために、「家具等の転倒防止等」



【連結固定器具】

家族の命を守るために、「家具等の転倒防止等」

【本や置物への対策】

食器棚の棚のすべり止め対策

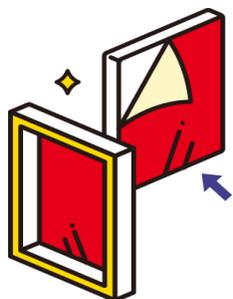


本棚の対策は、「落下抑制テープ」がおすすめ。振動実験では、阪神・淡路大震災相当の揺れでも、本は落下しませんでした。



棚面に「すべり止めマット」「落下抑制テープ」を敷く・貼る

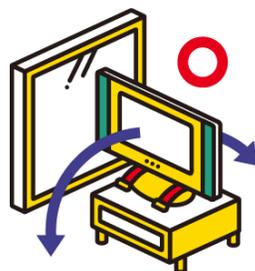
## 家族の命を守るために、「ガラスの飛散防止対策」



飛散防止対策済のガラスに交換するか、**飛散防止フィルム**を貼る。



昼間は薄いレース  
夜間はカーテンを。



倒れても窓ガラスに当たらないよう家具を配置



フィルムあり  
・なしの差

## 「生活の備え!」

# 家庭の備蓄

大地震発生後は、どこで暮らす？

シルバー世代等に避難所生活は難しい！

避難所？

- 避難所：寒い・暑い・床が硬い・狭い
- 感染症予防（三密）
- 水・食料や薬などの不足も予測

避難所では プライバシーを守る事が難しい！

『在宅避難』という選択

※但し家屋に被害がない。倒壊の恐れがない。

ライフラインや物流

止まっても

自宅で生活できる！

身体に入れるもの！  
水・食料品



身体から出すもの！  
『トイレ』



寝るとき使用するもの！  
『寝具』：毛布・寝袋・マット等

身体に入れるもの！  
水・食料品





# || 水 ||

1人1日3L 必要

(飲料用と調理用)

水は家に何箱必要 (4人家族の場合)



×



× 7日分 =

63

リットル

1人=3L  
(大人)

4人家族  
(大人2・子供2)

(子ども1/2)



×

5

2リットルペットボトル  
1箱 (6本入り)

箱

● 大きい袋だと…

## 水を運ぶ(断水)



汚れた容器でも  
OK



段ボールを  
バケツ代わりに



リュックを  
バケツ代わりに  
マンションやビルの  
高層階へ運ぶ時に便利!

### 「高層階の住民は…」





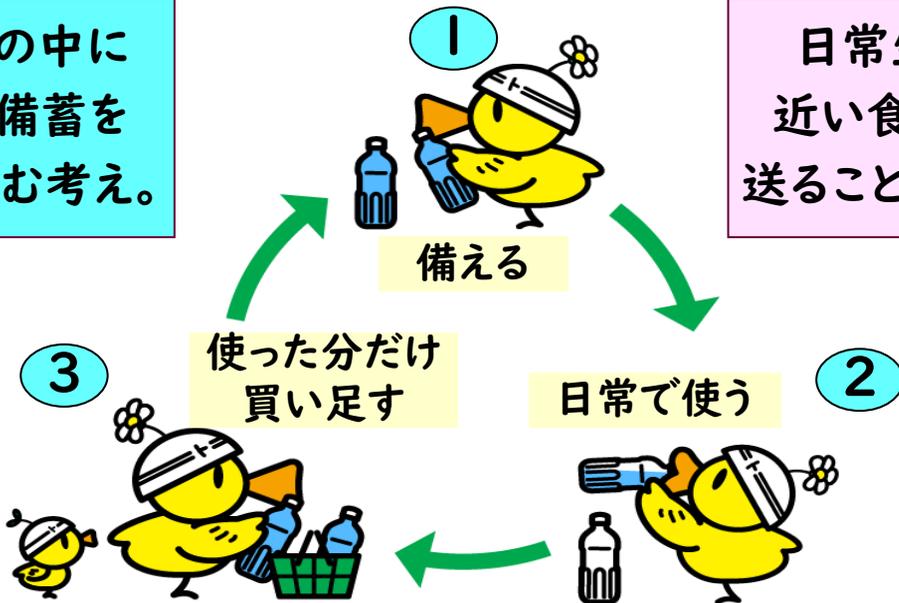
味を事前にチェックして、好みに合った  
おいしい非常食を準備しましょう！

## 非常食

### ローリングストック法

日常の中に  
食料備蓄を  
取り組む考え。

日常生活に  
近い食生活を  
送ることができる



## ローリングストック法の工夫

ライフラインが途絶えても・・・



日常生活に近い食生活を送ることができる!

「カセットコンロ」と「ボンベ」は必需品だね!

## 1週間備蓄の例

1

冷蔵庫、冷凍庫内の物を食べます。さらに、買い置きしている食料を食べます。



1～3日目

2

カセットコンロとボンベを十分備え、レトルト食品、フリーズドライ食品など、“非常食”を食べます。



4～7日目

# 身体から出すもの！ 『トイレ』



## 災害用トイレ（携帯トイレ）

災害時は、トイレが使えない状況



① 水が止まって  
流せない

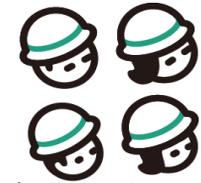


② 下水管が破損し  
汚水が流れ出る

## 「高層マンションの設備破損・・・」



### ● 備えておくべき災害用トイレの量

 1人1日  
5回 ×  × 7日分以上  
家族の人数分

#### 《 正しい備蓄量 》

1回ごとに携帯トイレを交換。

1人1日5回×家族4人×7日=140枚

**合計140枚必要。**



- ① 扱いやすいことが一番のポイント!
- ② 吸収、凝固、消臭の3つの機能がついているかチェック!

「どうしても避難しなければ  
ならない時の備えは？」

避難する前にブレーカーを切る



『通電火災』の防止!

非常用持出袋



## 【持ち出し品準備のポイント】

- 1) 荷物は出来るだけ少なく(優先順位)
  - ・ 女性が運べる重さの目安は10kg  
歩けるか確認しましょう
  - ・ リュックは玄関や車など、取り出しやすいところに置く
  - ・ 底のしっかりした、歩きやすい靴を準備
- 2) 携帯電話・スマホと充電器は必需品
- 3) 定期的なチェック
  - ・ 食品の賞味期限、電池、薬の使用期限にも注意
  - ・ 季節にあわせ、着替えなどチェック

147

## スマホと充電器は必ず携行

情報

・  
音  
・  
光





## 新型コロナウイルス感染症に備える



備蓄品



非常持出品



アルコール  
消毒液



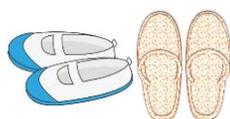
除菌シート



マスク



体温計



上履き・スリッパ



テント(アウトドア用)

車の  
トランク中

151

## コミュニケーションと確認が大切

最近のマンションや集合住宅では、隣にどんな人が住んでいるかわからない、挨拶すらもしないなど住民間の繋がりが希薄になっています。

ふだんから、何かあったときのためにお互い声かけできるような**コミュニケーションが必要**です。

また、普段から家族で話し合うなど、**1年に1回は家具等の転倒防止や備蓄品などを確認し合う時間**を持ちましょう。

## 自主防災組織の活動 ⑦



《地域防災力の  
向上を目指し》

正しい危機意識で  
災害に対応できる  
実的な訓練の継続と  
後継者の育成

## 防災格言

- 全ての防災は、事前対策にある！
- 安全・安心は、準備に比例する！
- 普段できない事は、  
いざという時にもできない！

## 災害時の自主防災組織の流れを継続的に訓練

☆運営本部の開設・運営

○情報の収集・伝達

○負傷者の救出・救護

○出火防止・初期消火

○避難行動要支援者の支援

○安否確認

○緊急避難場所への避難誘導

●被災者の把握・避難支援

●生活支援(給食・給水・物資・入浴・住居等)

発災初動時  
の訓練が重要

155

## 実際的な防災訓練の継続施策

- ① 市危機管理課及び消防署・消防団へ訓練指導要請
- ② 外部防災専門組織の活用
- ③ 市主催の防災訓練へ積極的な共同参加
- ④ 県及び近隣市町村主催の防災訓練の見学(研修)
- ⑤ 近隣自主防災組織との連携協力等

発災当初（3日間）は！

「自助」「共助」で  
地域を守る！



【公助】を  
あてにしない！

157

実効性ある組織的な地域防災力

まちづくり協議会

中学生は  
頼りになる！

あらゆる主体とのパートナーシップによる生活課題の解決



## ま と め

先ずは!

- ① 普段からの備えを実行して、自分と家族が守れること。
- ② 「**地域(隣近所)で声を掛け合える人**」となり、**地域(隣近所)で守れるように。**

**お互いの命を守ることができる近道!**

## ま と め ②

皆さんは、**地域での防災上の地位と役割に応じて**「**防災の基本的考え・地域の災害リスク**」を正しく理解し「**最新の防災知識**」を学び、**更なる地域防災力の向上**を目指し活動されることを祈念しております!

**家族・地域と共に、生き残れる!**

**被災しない! 被災者(避難者)にならない!**

ための備えと、行動の**普及・確認・継続**を!